

記入例①
(グループ/複数校/教員応募の場合)

第12回高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプランシート

応募締切：2024年9月25日(水) 17:00 ※提出期限厳守※

最終ページの「ビジネスプランシート作成および提出にあたっての留意事項」を必ずお読みください。

1. 学校名 (複数校での応募の場合は、WEB上でもグループメンバーの学校名を必ず入力してください。)

複数校での応募	✓有 □無	※複数校での応募とは、複数の学校の学生で構成されるグループを指します	
学校名 (代表校) ※略さず正式名称をご記入ください	(フリガナ) トウキョウトリツ ニッポンセイサクキンユウコウトウガッコウ	東京都立 日本政策金融高等学校	(普通 科)

2. 応募登録者

氏名	(フリガナ) ソウキョウ イチロウ	担当教員名※応募登録者が学生の場合に記入	
	創業 一郎	(フリガナ)	
連絡先	Tel : XXX-XXX-XXXX	Mail: ichiro@XXXXX.co.jp	Mail:

3. グループ及びグループメンバー (メンバーが8名を超える場 応募登録者が教員の場合、担当教員名等の記載は不要)

グループ名 ※個人応募の場合は不要 ※30文字以内、 絵文字使用不可	(フリガナ) ニホンオウエンタイ	(グループ総人数)
日本応援隊		2名

項番	(フリガナ) 姓	(フリガナ) 名	学校名	学年	メールアドレス※1
①	メンバー (代表者) ※2	キギョウ 起業	東京都立 日本政策金融高等学校	3年	taro
		タロウ 太郎			@XXXXX.co.jp
②	メンバー	ソウキョウ 創業	東京都立 グランプリ高等学校	3年	hanako
		ハナコ 花子			@XXXXX.co.jp
③	メンバー			年	@
④	メンバー			年	@
⑤	メンバー			年	@
⑥	メンバー			年	@
⑦	メンバー			年	@
⑧	メンバー			年	@

※1 本グランプリに関する情報等をお送りする予定ですので、卒業後も連絡が取れるメールアドレスをご記載ください。(任意)

※2 応募登録者が学生の場合、メンバー(代表者)は応募登録者のお名前等をご記入ください。

1 ビジネスプランのタイトル・概要 <small>必須</small>	
ビジネスプランのタイトル	<small>※30文字以内、絵文字・記号使用不可</small>
(フリガナ)	エコカツ
	エコ活
ビジネスプランの概要	
<p>飲食店で食事をし、完食した写真をアプリで投稿すると、飲食店で使えるポイントが還元されるというサービス。サービス名の「エコ活」には、完食をすることで誰もが地球にやさしい行動(活動)ができるというメッセージが込められており、顧客にも、飲食店側にも、アプリ側にも、そして地球にも利益があるサービス。</p>	

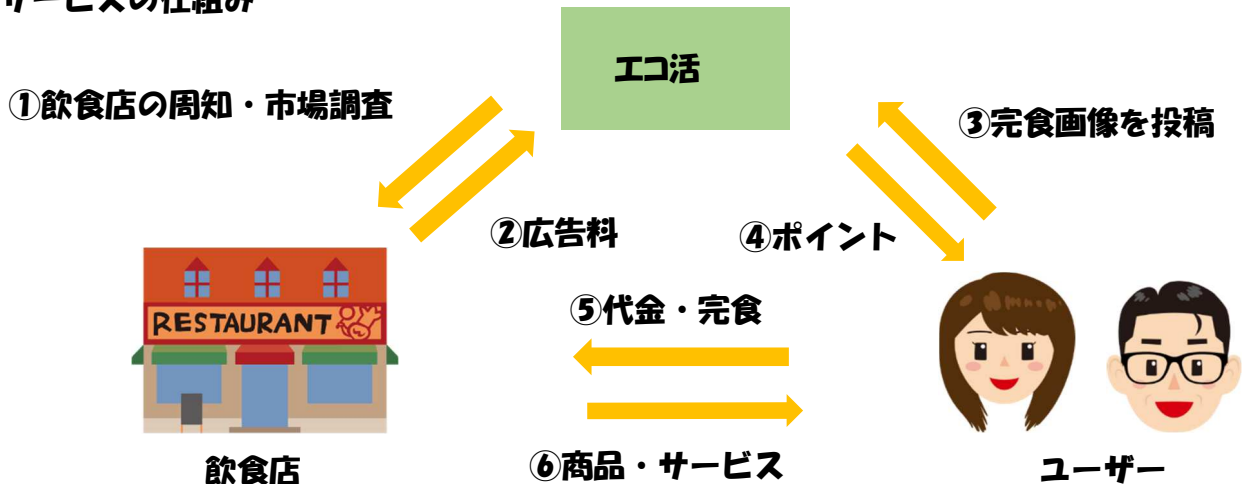
2 プランを思いついたきっかけ・目的 <small>必須</small>	
ビジネスプランを思いついたきっかけ・目的	
<p>・食品ロスやプラスチックごみが問題になっている一方で、食品を購入しても写真を撮って食べ残す、テイクアウトをしてポイ捨てするなどの行為を行う顧客がいることを知り、何とかして解決したいと思った。</p> <p>・中学生の時に、学校の授業でSDGsの存在を知った。SDGsとはSustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発目標のことである。その存在を知り、食品ロスやプラスチックごみを解決するようなアプリを作るとは、SDGsの12番目の目標である「つくる責任つかう責任」を達成する手助けになるのではないかと思ったから。</p>	

3 商品・サービス 必須

① 商品・サービスの内容 ② 既存の商品・サービスとの違い、セールスポイント

●ユーザーは「エコ活」と提携した飲食店で商品を完食した写真を「エコ活」のアプリに投稿することで、飲食代金の5%のポイントを獲得できる。獲得したポイントは提携先飲食店で使用可能。また、飲食店は「エコ活」に広告を有料で掲載でき、ユーザーは広告から5%割引のクーポンを受けとることができる。

●サービスの仕組み



① 飲食店の周知・市場調査

- ・アプリ内でユーザーが飲食店の写真をアップすることで、飲食店の宣伝になる。
- ・完食した写真の投稿をポイント獲得の条件とすることで、飲食店は顧客の満足度やニーズ、顧客層の把握などの市場調査を行うことができる。
- ・投稿数によりユーザーランキングを掲載することで、ユーザーの継続的な利用につなげる。

② 広告料

- ・ユーザーが会計時に「エコ活」に完食した写真を掲載した場合、飲食店はその飲食代の5%を「エコ活」に支払う。
- ・上記とは別に、有償広告を掲載した飲食店はその広告料を「エコ活」に支払う。

③ SNS 投稿（飲食店の宣伝）

- ・ユーザーは商品を完食した写真をその商品の感想を添えて投稿する。

④ ポイント

- ・飲食店は会計時にユーザーが完食した写真を投稿したことを確認したら、QRコードを顧客に提示する。顧客は「エコ活」アプリで二次元コードを読み込み飲食代の5%をポイントとして獲得する。
- ・ポイントは「エコ活」と提携している飲食店で利用できる。

⑤ 代金・完食

- ・飲食店は飲食代に加え、完食により処分するごみが減り、経費削減につながる。また、「エコ活」による情報拡散、広告により新規顧客獲得につながる。

⑥商品・サービス

- ・ユーザーは「エコ活」に溜まったポイントにより、割引を受けることができる。
- ・ユーザーは広告から5%割引のクーポンを受けとることができ、飲食代金支払いの際に利用できる。

●事業拡大について

- ・一定数のユーザーを獲得したら、ポイントがもらえる条件を完食だけではなく、以下のサービスもスタートさせる。
 - ① マイ箸、マイストローなどを使って食事をする事でポイントを獲得できるサービス
 - ②「エコ活」が作成した使い捨てしないマグカップ、ランチボックスを飲食店で販売するサービス
 - ③飲食店で売れ残ってしまった商品を当日中に割引価格で販売する情報をアプリ内で発信できるサービス
- ①…飲食店の箸やストローなど経費削減ができるのと同時に、プラスチックごみの削減につながる。
- ②…①同様、飲食店の飲食店の削減が可能。さらに、マグカップやランチボックスの利益を「エコ活」と飲食店が折半することで、両方に利益が生まれるのと同時に、プラスチックごみの削減につながる。
- ③…アプリで発信することにより、飲食店の売上増加、食品ロスの減少につなげる。

●セールスポイント

- ・広く普及しているSNSアプリの「Instagram」と同様の簡単な投稿により、飲食代の5%をポイント獲得できる。
- ・実際に飲食した人の口コミを確認できる。
- ・食品ロスに貢献しながら、飲食店の売上・利益向上に貢献できる。

同じような商品・サービス(競合品の確認)

- ・同様のサービス〇〇がクラウドファンディングを実施していることは確認したが、リリース情報は確認できていない。
- ・〇〇については、広告によるクーポン配付は実施していない。

4 顧客（商品・サービスを販売する先） <small>必須</small>
想定している顧客（ターゲット）
<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店を営む事業者 ・SNSを頻繁に利用する10～30代
具体的な販売（提供）方法、広告方法
<ul style="list-style-type: none"> ●提供方法 <ul style="list-style-type: none"> ・Apple Store、Google Play でのインストール ・スマートフォンでの使用 ●広告方法 <ul style="list-style-type: none"> ・Twitter、Facebook などの SNS でのアカウントでの周知・公告 ・提携している飲食店で「エコ活」をインストールできる二次元コードが掲載されたチラシを配布

5 必要な経営資源等 <small>必須</small>
必要な経営資源（ヒト、モノ、技術・ノウハウ）
<small>「ポイント」 商品・サービスを実現化するためには、どのようなヒト、モノ、技術・ノウハウが必要か考えてみましょう。</small>
<ul style="list-style-type: none"> ●必要なヒト <ul style="list-style-type: none"> ・アプリのプログラマー兼デザイナー2名 ・広報・営業スタッフ2名 ●必要なモノ <ul style="list-style-type: none"> ・アプリの制作費用（人件費、サーバー代など） ・広告費用（SNS 広告、チラシ作成）
実現に向けて考えられる課題（ハードル（障害）やリスク）と対処方法
<small>「ポイント」 ・実現するための課題（ハードル（障害）やリスク）はないか、幅広く考えてみましょう。 ・対処する方法は、自分たちの力を伸ばして解決する方法でも良いですし、他の人の力を利用する方法でもかまいません。</small>
<ul style="list-style-type: none"> ●開発費用の調達 ●サービスの安定運用（アプリのバグ解消、飲食店の会計サービスの速やかな連携） ●飲食店との提携（営業力の強化）

6 収支計画 (年間) <small>必須</small>		1年後	[3]年後 (任意の年を記入)
売上高		1,200 万円	6,040 万円
売上原価 (仕入高)		0 万円	20 万円
経費	人件費	1,200 万円	3,600 万円
	家賃	0 万円	240 万円
	広告宣伝費	360 万円	1,200 万円
	その他	8 万円	122 万円
	合計	1,568 万円	5,162 万円
利益		-368 万円	858 万円

計算方法

「ポイント」・経費や売上原価よりも「売上高」の算出に力を入れてください。

・細かく計算するよりも、商品・サービスの価格や販売する数量など、計算する要素の妥当性をよく考えてみましょう。

【1年後】

●売上高

(完食写真投稿による広告売上)

・飲食店の1か月売上200万円のうち5%でアプリの利用があったと仮定

⇒月200万円×5%×5%(広告料)×12か月=6万円

・飲食店100店舗と提携すると仮定

⇒6万円×100店舗=600万円…①

(有償広告による売上)

月5万円の有償広告費とし、10社から契約を獲得したと仮定

⇒5万×10社×12か月=600万円…②

合計(①+②) 600万+600万=1,200万円

●売上原価(仕入高)

なし(事業拡大後はマグカップやランチボックスの原価が発生)

●経費

・人件費:25万円×4人×12か月=1,200万円

・家賃 テレワークを原則とするため発生せず。

・広告宣伝費 月30万円×12か月 360万円

・インターネット環境・クラウドサービス利用費:月2万円×12か月=6万円

・アプリストア登録費:2万円

⇒合計 1,208万円

【3年後】

●売上高

(完食写真投稿による広告売上)

・提携する飲食店が500店に拡大すると仮定

⇒6万円×500店=3,000万円…①

(有償広告による売上)

契約する飲食店を 50 社まで拡大したと仮定

⇒5万×50社×12か月=3,000万円…②

(マグカップ・ランチボックスの売上)

飲食店20店と連携し月2万円の売上と仮定

20店×月2万円=40万円…③

合計(①+②+③) 3,000万+3,000万+40万円=6,040万円

●売上原価(仕入高)

マグカップ・ランチボックスの原価を50%と仮定

40万円×50%=20万円

●経費

・人件費:30万円×10人×12か月=3,600万円

・家賃 オフィス兼倉庫 月20万×12か月=240万円

・広告宣伝費 月100万円×12か月 1,200万円

・インターネット環境・クラウドサービス利用費:月10万円×12か月=120万円

・アプリストア登録費:2万円

⇒合計 5,162万円

7 調査、ヒアリング結果 (任意)

※この欄は枚数制限 (合計8ページ) に含まれます

《ポイント》 商品・サービス、必要な経営資源等、市場ニーズなどについて、調査したこと、事業されている方などに聞いてみたことを、記入してください。

・学校近隣の飲食店 10 店舗にヒアリング。5%の広告代がかかっても利用したいとの意見が 9 割を占めた。

【添付資料用シート (任意)】

※この欄は枚数制限 (合計8ページ) に含まれます

・特になし

プラン作成の感想【自由記述】

※この欄は枚数制限（合計8ページ）に含まれません

学校の授業で SDGs の存在を知ってから、今回考えたプランのような、誰かのため、社会のため、地球のためになるようなことをしたいと思っていましたが、自分個人でできる範囲が限られていることにもややもやしていました。

しかし、このビジネスプランを作成している最中は、のびのびと考えることができました。「このような人と協力することができれば、こんなこともできる！」など、夢が広がり、希望が溢れるような体験ができました。

また、ひとつのビジネスを行うのにも数々の人の協力や、会社の努力があることを実感し、働くことの大変さとプランを完成させる達成感も知ることができ、将来働くことが楽しみになりました。ビジネスプラン作成を通して得た、夢や希望を無駄にせずに、誰かのために日々行動することを心掛けたいと思います。

ビジネスプランシート作成および提出にあたっての留意事項

応募締切：2024年9月25日（水）17：00 ※提出期限厳守※

提出書類について	
1	ビジネスプランシートは、添付資料用シートを含め、合計8ページまでを上限とします（※「ビジネスプランシート作成および提出にあたっての留意事項」、「プラン作成の感想」は除く。）。
2	ビジネスプランシートは、必ず本シートの書式を使用し、ヘッダーおよびフッターの編集は行わないでください。 添付資料用シートは、プラン内容を説明するための補足情報がある場合のみ使用可能です。
3	ビジネスプランシートは返却いたしません。
提出方法について	
1	専用WEBページから、応募するプランタイトル・グループ名・グループメンバー等の情報を登録してください。
2	ビジネスプランシートは、専用WEBページからPDF形式・word形式のいずれかのファイル形式で提出してください。また、ファイル名は「学校名+代表者名（個人の場合は代表者名のみ）」で保存してください。
記入事項について	
1	文字のフォントは10.5以上で記入してください。
2	ビジネスプランシートを手書きで記入する場合は、必ず黒ペンを使用し、読みやすい大きさに記入してください。
3	学校名、応募登録者情報、グループ名、代表者、グループメンバー及びプランタイトルの項目については、ビジネスプランシートに漏れなく必ず記入してください。
4	グループ名、プランタイトルは30文字以下で記入してください。（絵文字の使用不可）
5	グループメンバーが8名を超える場合は、別紙（8名超用シート）を必ず添付してください。
その他留意事項	
1	提出期間は厳守してください。提出期限を過ぎたものは、審査対象外として取扱います。 また、アドバイスなどのコメントも行いません。
2	学校名、グループ名、代表者、グループメンバー、学年およびプランタイトルの項目については、WEB登録上と異なる場合は、WEB登録上の記載内容が正しいものとして取扱います。
3	商品化が完了し、継続的に売上を上げているなど、既に事業化しているものは対象外です（試験販売や試作品製造は除く）。
4	ご提供いただいた情報（学校名、グループ名、グループメンバー、プラン概要、ビジネスプランシートの内容等）はホームページなどで公表することがあります。
5	応募できるビジネスプラン数は、1グループにつき1件です（個人の場合は一人につき1件）。同一メンバーのグループにおいて、複数のビジネスプランを応募することはできません。
6	提出期限の直前は、WEB登録画面が非常に混み合う可能性がありますので、登録の際はご注意ください。
7	その他の注意事項については、本グランプリホームページをご覧ください。

【 Instagram 】



【 Facebook 】



【 HP 】



日本公庫 グランプリ



<https://www.jfc.go.jp/n/grandprix/>